

Georg Friedrich Händel

(1685-1759)

Rinaldo

作曲: ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル

原作: トルクワート・タッソ作 叙事詩『解放されたエルサム』

台本: ジャコモ・ロッシによる3幕もの

言語: イタリア語

初演: 1711年、ロンドンのヘイマーケット女王劇場

この作品はヘンデルがロンドンで初めて発表したイタリア語のオペラで、イタリア時代の作品のオイシイところをゴッソリ転用したため、全編徹頭徹尾充実した曲ばかりという驚異的な傑作となっています。

しかも物語が、あのトルクワート・タッソの『解放されたエルサレム』に基づいた魔法ものなので、ゴージャスでファンタジーたっぷりの派手な場面が多数存在、ルネサンスの昔から、画家や作曲家たちが好んで取り上げたことに

も納得の変化に富む面白さが魅力的です。

類似した題材(アルミーダ)をもとに作曲されたオペラとしては、これまでにロッシーニ、ハイドン、ヨメツリ、リュリ、グルック、ドヴォルザーク、チマローザ、トラエッタ、アンフォッシ、サリエリ、ナウマン、ミスリヴェチェク、サッキーニらの作品が知られていますが、ヘンデルの作品は、ロッシーニと並ぶ人気を獲得した名作との評価が定着しています。

<配役>

リナルド(騎士・アルミレーナの恋人): デイヴィッド・ダニエルズ(カウンターテナー)

ゴッフレード(十字軍の将軍): デイヴィッド・ウォーカー(カウンターテナー)

アルミレーナ(ゴッフレードの娘): デボラ・ヨーク(ソプラノ)

エウスタンツィオ(ゴッフレードの弟): アクセル・ケーラー(カウンターテナー)

アルガンテ(エルサレムの王): エギルス・シリズ(バス)

アルミーダ(魔女): ノエミ・ナーデルマン(ソプラノ)

洞窟の魔法使: チャールズ・マクスウェル、他

バイエルン国立歌劇場管弦楽団

ハリー・ビケット(指揮)

演出: デイヴィッド・オールデン

装置: パウル・シュタインベルク



日時 / 4月4日(土) 9:30~12:00

場所 / 久寺家近隣センター 多目的ホール

発表者 / 清水 俊一・佐藤 久男

参加自由・入場無料

問合わせ / 04-7184-3771 佐藤 <http://www.aafc.jp/>